

弾道ミサイル落下時の行動について

四日市市教育委員会指導課

1. ミサイル落下の可能性のある場合の連絡

- ミサイルは、発射からわずか10分もしないうちにこちらに飛んでくると考えられます。
 - ミサイルが日本に落ちると考えられるときには、「Jアラート」により緊急の情報が伝えられ、地区市民センターなどにある防災行政無線で特別なサイレン音とともにメッセージが流れます。
- ※他にも、緊急の情報は、緊急速報メールなどで知ることができます。

Jアラートではこんなメッセージが流れます。

(例) 直ちに避難。直ちに避難。直ちに建物や地下に避難してください。ミサイルが落下する可能性があります。直ちに避難してください。

2. 学校にいる場合の行動

メッセージが流れたら落ち着いて、すぐに行動しましょう。

(1) メッセージが流れた場合

【校舎内にいる場合】

- できるだけ窓から離れ、机の下、または床にふせて頭を守る。
- ※カーテンを閉める。

【運動場などの屋外にいる場合】

- 校舎内に避難する。

【登下校中の場合】

- 近くの建物に避難する。
- 近くに建物がない場合は物陰に身を隠すか、地面にふせて頭を守る。

(2) 近くにミサイルが落ちた場合

【校舎内にいる場合】

- 窓を閉め、目張り(窓の周りビニールテープなどをはること)をする。
※換気扇がある場合は、必ず止める。

【登下校中を含め、運動場などの屋外にいる場合】

- 口と鼻をハンカチでおおい、落ちた場所からすぐに離れ、密閉性の高い建物の中、または風上へ避難する。

3. 学校以外にいる場合の行動

近くにミサイルが落ちても
あわてず、行動しましょう。

(1) 防災行政無線やテレビ等からメッセージが流れた場合

【家やお店などの屋内にいる場合】

- できるだけ窓から離れ、または床にふせて頭を守る。
※カーテンを閉める。

【遊びに行っている途中など、屋外にいる場合】

- 近くの建物に避難する。
- 近くに建物がない場合は物陰に身を隠すか、地面にふせて頭を守る。

(2) 近くにミサイルが落ちた場合

【家やお店などの屋内にいる場合】

- 換気扇を止め、窓を閉め、目張り(窓の周りビニールテープなどをはること)をする。

【遊びに行っている途中など、屋外にいる場合】

- 口と鼻をハンカチでおおい、落ちた場所からすぐに離れ、密閉性の高い建物の中、または風上へ避難する。